

### 3. 福祉・社会保障(福祉・社会保障、子育て支援、医療関係)

#### <「福祉・社会保障(高齢者対策・障がい者対策・社会保障全般)」に関連する要求>

- (1) 高齢者の移動手段確保の一環、高齢者自動車事故削減(免許返納推進)のための施策としてバス会社と協議検討し、限られた財源の中でも工夫し、他の都市での取り組みを参考にするなどして、高齢者や交通困難地・交通空白地の市民の移動手段が向上する取り組みを行うこと。

また、高齢化や地域特有の地理条件などから、買い物や通院などの、身近な移動確保策としては、相模原市地域おでかけサポート推進事業や介護予防事業送迎けんこう号運行事業など既存事業の強化に加え、実証試験が実施されているグリーンスローモビリティの導入においては持続可能な資金調達や運営モデル構築を確実に実施すること。(補強継続)

- (2) 社会福祉法の改正における「重層的支援体制整備事業」の体制整備については、多様なニーズの対応に、適切かつ個別の支援が提供できるよう、異なる支援機関や地域団体との効果的な連携を行うとともに、参加する人たちの興味や関心が高まる周知広報を行うこと。

また、既存の制度活用だけにとどまらず、連携を模索および強化して対応する「断らない相談支援体制の構築」を基本に、ヤングケアラーを含むすべての地域住民を対象とする包括的支援の体制整備を積極的に進めること。(新規)

- (3) 医療的ケアが必要な重症心身障害児(者)の20歳以上への特別処置について規制緩和を国に働きかけること。また、相模原市内での短期入所(ショートステイ)、医療型障害児入所施設の拡充・整備を行うこと。(新規)

- (4) 改正介護保険法の施行により、都道府県の努力義務として介護現場の生産性向上の促進に向けた取組が求められる「介護生産性総合相談センター」設置について、各都道府県に設置される「介護現場革新会議」の方針に基づき、相模原市としても独自の介護現場の生産性向上の促進に向けた、介護現場改革の相談・取組方針(計画)の策定支援、介護助手採用などの業務仕分け支援、介護施設現場に出向いての伴走支援、家族介護者を含む介護に関する講演・セミナーの定期開催、介護ロボット・ICTなどのテクノロジー機器の紹介・展示体験・貸出など、介護現場・メーカーと各種団体・機関との橋渡し役ができる総合相談センター(ワンストップ窓口)開設を検討すること。(新規)

#### <「福祉・社会保障：子育て支援」に関連する要求>

- (5) 市内小学校における「児童クラブ」「放課後児童健全育成事業」においては、対象年齢の拡大を行うとともに、時間においては利用者のニーズを把握し、運営時間の拡大等柔軟な対応が取れるよう引き続き先駆的な対応を行うこと。

あわせて、長期休業期間(夏休み等)における利便性向上(昼食対応など)については、夏休み期間だけ宅配弁当を利用することによる課題の整備など、改善を進めると共に、安全性の確保に向け、有資格支援員の増員を図ること。(継続)

- (6) 生活困窮世帯の子どもたちや学生への支援として、「子ども食堂」などの、主に民間が実施している「子どもの居場所づくり」の具体的な事業支援として、財政支援の強化・寄付や助成金の申請プロセ

スの簡素と透明化を推進すること。また、食事提供だけでなく、学習支援や心のケアを含むプログラムの実施など、市としても勉強会やカウンセリングの支援等引き続き支援の充実を図ること。

(補強継続)

**<「福祉・社会保障：医療」に関連する要求>**

- (7) 予防接種におけるワクチン接種の定期接種化されていないもののうち、「おたふくかぜ」「インフルエンザ」、「新型コロナウイルス」や「帯状疱疹」について、児童および高齢者に対するワクチン接種については、リスクベネフィットの観点から希望する本人について公費負担（一部補助）を実施するよう進めること。

(補強継続)